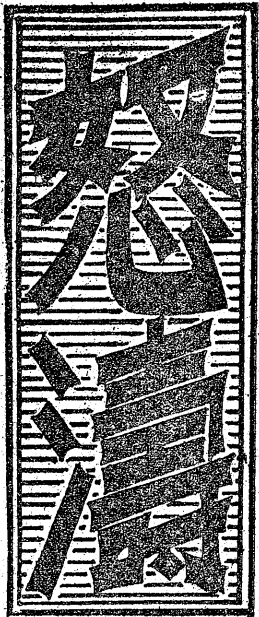


東南アジア諸国人民の反日闘争に連帯しつつ 世界プロレタリア革命の戦列の前進へ



第95号
1974年2月1日
定価 30円
年間1000円 (郵共24回)

発行所
東京都豊島区池袋
2-11-2 白石ビル
怒涛社
電話 (982) 3312
147121
編集者 中川進

東南アジア各国人民

「日本経済帝国主義侵略反対」をかかげ 田中訪問を痛撃

田中訪問を痛撃

一月七日、フィリピン、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシアを訪れ、各国の反動的支配階級と結託し、日本の資本家階級のASEAN諸国における経済的権益を拡大し、とりわけ、アラブ諸国の石油生産削減から「教訓」を得て、資源獲得を目的とし、日本帝国主義の政治的威信を誇示しようとした日本の資本家階級の代表政治委員田中政府の意図は、アジア諸国人民の抗議・糾弾の関りによってむかえられ

対のストロカに示されるように、経済侵略に対する抗議であり、より具体的には、もうけ主義一点ばりの日本企業、低賃金労働のおしつけ、公害の輸出、貿易収支の不均衡を暴露しての闘いであつたといわれる。日本企業は、タイ、インドネシアでかなりの程度、市場商品販売の中心を占め、現地の労働者から人権を奪取し、現地の労働者から搾取を徹底しつづけている。ASEAN諸国の高級官僚は、日本の独占資本と結託し、利益をおぼれをもたらし、東南アジア人民が「汚職政治」とつねに告発しているところの汚れた金をふくらみ、人民を高擧げ、高擧げのもとに支配してきたのである。したがってまた帝国主義諸国の独占資本と結託したほんのひとりに、資本主義階級と庄倒的なまじり労働者階級とを区別するべきである。ASEAN諸国に進出している日本の独占資本は、今回の学生を中心とした人民の発覚にも全然反省の色を示さないといわれる。「ジャカルタ日本人会の理事長丸紅ジャカルタ支店長の久和生」といふ輩は、「このような暴動がおこつたのは、インドネシア政府の責任である」との暴論を長日とも

なごも今度の事件をきっかけに考へたい。民間企業のみが進出しているからといって、政府がプロレタリア世界革命の旗の下に、万国の労働者団結せよ！ 労働者共産主義委員会

なごも今度の事件をきっかけに考へたい。民間企業のみが進出しているからといって、政府がプロレタリア世界革命の旗の下に、万国の労働者団結せよ！ 労働者共産主義委員会

1.18 中教審路線粉碎の闘い 新大管法制定策動粉碎の闘い

一月八日、東大闘争五周年日にあたるこの日、中教審路線粉碎の闘い、新大管法制定策動の闘い、九州、関西が組織された。

そのあと、北都学生戦線の東洋大、中大の学生、水産学自衛隊執行部、東大農学部自治会、医学連生、学生戦線、東大医学部自治会、関東学院学生戦線、中教審路線と新大管法の制定策動に反対する闘い、決意表明を行った。

東京

一月八日、二〇〇名の首都圏の学生が集会をもち、その後、機動隊の弾圧をはねのけて、常盤公園までデモを行った。集会は、「ジャカルタ日本人会の理事長丸紅ジャカルタ支店長の久和生」といふ輩は、「このような暴動がおこつたのは、インドネシア政府の責任である」との暴論を長日とも

九州

九州では九州実行委員会の主催で八〇名の学生が九州大学で集会をもち、中教審路線粉碎、新大管法制定策動の闘い、決意表明を行った。

関西

関西では、二〇〇名の学生が結集し、京大で闘いがあつたが断続的な闘いを展開した。

集会・闘争短報

二月三日、狭山差別闘争糾弾、狭山現地調査、主催：狭山闘争連絡会議(連)、午前十時、入間川駅集合

怒涛紙代改訂のお知らせ
「怒涛」は、一部三〇〇円の紙代で、長い間購読していただき、誠にありがとうございました。しかし、これ以上紙代を維持し、発行に必要となる費用の増大を、紙代の変更をせざるを得ません。変更後の紙代は九六号(二月十六日号)より次のようになります。

一部(タブロイド版) 四四〇円 (郵送の場合 二円追加)
郵送定期購読の場合(但し開封) 一年間(二四回分) 送料込 一、二〇〇円

なお、十部以上まとめてお申し込みの方は、送料が負担いたします。(送料は、実費を頂きます)

